

# 仕 様 書

## 1 適用

本仕様書は、「令和7年度南原保育園外壁等改修工事」に適用します。

本工事は、この仕様書及び設計図書等（以下「関係図書」という）に基づき、工事目的、工事内容等を熟知した後、監督職員の指示に従い誠実に履行してください。

## 2 工事概要及び対象設備

### (1) 一般事項

本工事における施工概要は次のとおりとしますが、設計書、仕様書、その他関連規格等に基づき、入念に施工してください。

### (2) 概要

保育園舎外壁の洗浄、塗装及び補修並びに軒天井の補修を実施するものです。

## 3 工事場所

南箕輪村 南原

## 4 工期

本工事の工期は、契約締結日より令和8年1月31日までとします。

## 5 工程

工程については、保育園の保育・行事等に支障がないよう日程を調整し、契約後速やかに発注者及び園長と協議を行い、綿密な工程及び施工計画により施工してください。

## 6 法令の遵守

受注者は工事の施工にあたって、関係法令、基準及び規格等を守って工事の円滑な進捗を図ってください。

## 7 現場管理

(1) 受注者は、工事の施工にあたり、安全及び公害防止に関する諸法規、規定を厳守し、人身及び施設の事故防止、公害の防除、公衆の安全に万全を期してください。

(2) 現場代理人は、施工時に現場に常駐し、施工管理、作業員の指導監督及び関係各所との連絡を密にし、工事の進捗に支障のないように努めてください。

(3) 施工場所以外に支障のないように現場作業の区域を明確にし、工事に必要のない箇所には立入らないでください。

(4) 工事用資材、工具類の保管及び整頓に留意してください。万一、破損、紛失等があっても受注者の責任によるものとします。

(5) 受注者は、工事の実施に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、または第三者に損傷を与えた事故が発生したときには、応急処置をとるとともに、速やかにその状況を村に報告してください。

## 8 撤去品の処理

(1) 工事で発生する産業廃棄物については、関係法令に従い適正に処理するとともに、処理状況を確認できる各書類を整理、保管してください。また、施工計画書に処理業者及び運搬業者の各許可証と契約書の写しを添付してください。

(2) 産業廃棄物は受注者の責任において、契約期間内に処理してください。また、マニフェストの写しを提出してください。

## 9 工事完成

本工事の完了は、工事竣工検査に合格したときとします。なお、工事竣工検査には現場代理人及び主任技術者が必ず立ち会ってください。

# 令和7年度 南原保育園 外壁等改修工事

表紙・図面リスト							
図面番号	図面名称 (建築工事)	図面番号	図面名称 (建築工事)	図面番号	図面名称 (電気設備工事)	図面番号	図面名称 (機械設備工事)
A-01	改修工事 特記仕様書 1	AS-01	既存 矩計図 1 (参考図)		工事無し		工事無し
A-02	改修工事 特記仕様書 2	AS-02	既存 矩計図 2 (参考図)				
A-03	改修工事 特記仕様書 3	AS-03	既存 矩計図 3 (参考図)				
A-04	改修工事 特記仕様書 4	AS-04	既存 矩計図 4 (参考図)				
A-05	改修工事 特記仕様書 5	AS-05	既存 ポーチ庇詳細図 (参考図)				
A-06	改修工事 特記仕様書 6						
A-07	改修工事 特記仕様書 7						
A-08	解体工事 特記仕様書 1						
A-09	解体工事 特記仕様書 2						
A-10	概要・面積表・付近見取図・全体配置図						
A-11	構内安全仮設計画図						
A-12	仮設計画図 (外部足場)						
A-13	全体平面図						
A-14	全体屋根伏図						
A-15	全体軒天伏図						
A-16	全体立面図						
A-17	プール機械室図						
A-18	3期園舎 雨よけ改修 平面図						
A-19	3期園舎 雨よけ改修 立面図						
A-20	3期園舎 雨よけ改修 矩計図						

特記仕様書

I. 工事概要

Table with 4 columns: 1. 工事場所 (上伊那郡南箕輪村9645), 2. 敷地面積 (4,912.97㎡), 3. 工事種目 (改修工事), 4. 工事内容 (外壁・屋根等改修に伴う仮設工事・改修工事), 5. 工事範囲

Table with 4 columns: 工事種目, 建築主体工事, 電気設備工事, 機械設備工事. Lists various construction items like 仮設工事, 防水改修工事, etc.

II. 管理技術者等

Table listing management and technical staff including Design Office (有限会社 ワイズ創造研究所) and Management Technicians (唐沢 豊).

III. 建築改修工事仕様

- 1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁登録部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。
○公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (最新版) (以下「改修標準仕様書」という。)

- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。

章 項 目 特 記 事 項

- ① 各章共通事項
① 通用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
② 工事実績情報の登録
③ 電気保安技術者
④ 施工条件明示事項
⑤ 「現場説明事項・施工条件明示事項」による
⑥ 環境への配慮

- ⑦ 材料の品質等
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
⑧ 石綿含有建材の調査

- 8. 施工数量調査
⑨ 設備工事との取合い

Table for skill requirements (技能士) and chemical concentration measurement (化学物質の濃度測定) with columns for skill type and specific tasks.

Table for chemical concentration measurement (化学物質の濃度測定) showing measurement methods and results for various substances.

- 12. 埋設配管・配線および鉄筋調査
あと施工アンカー工事
6車および8車によるコア抜き、はつり工事等

- ⑩ 完成写真
⑪ 完成写真
⑫ 完成写真

Table for completion photos (完成写真) detailing photography locations, equipment, and personnel.

- 1. 騒音・粉じん等の対策
⑫ 足場等

- ⑬ 既存部分の養生
養生方法等
⑭ 仮設間仕切り

Table for temporary partitioning (仮設間仕切り) showing material types and specifications.

- ⑮ 監督員事務所
⑯ 工事用水
⑰ 工事用電力

- 1. 施工数量調査
2. 降雨等に対する養生方法 (とい共)

- 3. 既存防水の処理
4. 既存下地の処理
5. アスファルト防水

Table for waterproofing (防水) detailing methods, materials, and specifications for different areas.

<p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護工法 ・乾式保護材(品質・性能・試験方法は別表による) 業系系パネル1種(厚さ (mm) 幅 (mm)) ・れんが押え(※JIS R 1250 ) ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内) 屋根露出防水(既存) 新設防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・MAC</td> <td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ・D-2</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ・D1-2</td> <td></td> <td></td> <td>改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm)</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による ・ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋内防水 防水層の種類 改修工法 種別 施工箇所 ・PIE E-1 ・P2E E-2 保護層 ・設ける(※図示による) ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・図示による 屋根露出防水(既存) [3.4.2.3] 新設防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1</td> <td>・AS1-T1 (種類) (厚さ) (mm)</td> <td></td> <td></td> <td>改修標準仕様書3.4.2 (3)(イ) (種類) (厚さ) (mm)</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・MAC	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・適用する	・M3D ・POD	・D-1 ・D-2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2			改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm)	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・適用する	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 (種類) (厚さ) (mm)			改修標準仕様書3.4.2 (3)(イ) (種類) (厚さ) (mm)	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	<p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 絶縁断熱工法の防湿シート ・設置する ・設置しない 新設防水層の種類 [3.5.2-4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POS ・S4S</td> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td>・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地</td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・SI-F1 ・SI-F2</td> <td>・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地</td> <td></td> <td>改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(b) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・SI-M1 ・SI-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(a) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50</td> <td>改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 改修工法 種別 施工箇所 ・PIS S-G1 平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ※押し目地 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ mm以上 絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・S-F1				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・POS ・S4S	・S-F2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	・S-M1				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	・S-M2				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地		改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1 ・S-M2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地		改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(b) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・SI-M1 ・SI-M2				改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(a) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	<p>固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法のプレキャストコンクリート部材下地目地処理 ・行う(・図示による) プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う(・図示による) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 新設防水層の種類 [3.6.2.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個) 新設防水層の種類 改修工法 新設種別 施工箇所 工程数及び各工種の使用量 保護層 ・PIY ※Y-2 ・P2Y ※Y-2 主材料の製造所の仕様 主材料の製造所の仕様 ・設ける ・設けない ・設ける ・設けない ⑤ 施工数量調査 調査範囲 ①外壁改修範囲 (RC打ち放し面、RC基礎面) ・図示による 調査時期 ②外壁仕上げ等除去前 ・外壁仕上げ等除去後 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新設塗膜との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示による ③監督員との協議による 調査報告書(提出回数 ④部 ) ④-1 外壁改修工事 ⑤ び割れ部改修工法 ・樹液注入工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ・130 0.2以上~0.3未満 ⑥0~100 ⑦0 0.3以上~0.5未満 ⑧0~200 ⑨0 0.5以上~1.0未満 ⑩50~250 ⑪30 ⑫適宜の方法 ⑬充填工法 [4.1.4] [4.2.4.7] ・エポキシ樹脂モルタル ⑭ポリマーセメントモルタル</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・POX	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない	<p>8. 差顕防水 9. シーリング 10. とい 11. アルミニウム製窓木 4 外壁改修工事(共通事項) 4-1 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁</p>
改修工法					新設種別	施工箇所			断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																																																																																			
	種類	使用量																																																																																																																																																																														
・MAC	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・適用する																																																																																																																																																																									
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2			改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm)	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																																																																																									
				種類	使用量																																																																																																																																																																											
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・適用する																																																																																																																																																																									
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 (種類) (厚さ) (mm)			改修標準仕様書3.4.2 (3)(イ) (種類) (厚さ) (mm)	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																																																																																									
				種類	使用量																																																																																																																																																																											
・S-F1				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・POS ・S4S	・S-F2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・S-M1				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・S-M2				改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地		改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・M4S	・S-M1 ・S-M2			改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	・ア+タ+H コンクリ+下地 ・ア+タ+H コンクリ+下地		改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(b) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
・SI-M1 ・SI-M2				改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(a) (種類) (厚さ) (mm) 25 - 50	改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																									
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																																																																																										
			種類	使用量																																																																																																																																																																												
・POX	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dレ ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																										
・L4X	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																										
<p>6. 改質アスファルトシート防水</p>	<p>7. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p>	<p>8. 差顕防水 9. シーリング 10. とい 11. アルミニウム製窓木</p>	<p>4 外壁改修工事(共通事項) 4-1 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁</p>																																																																																																																																																																													

<p>4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>1. 既存モルタル塗りの撤去</p> <p>2. ひび割れ部改修工事</p> <p>3. 欠損部改修工事</p> <p>4. 浮き部改修工事</p>	<p>・行う (※ 全面 ・ 図示の範囲)</p> <p>・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5、6、7、8]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0未満</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>※50～100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>※100～200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上～1.0未満</td> <td>※150～250</td> <td>※130</td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの採取を行う 採取回数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>採取部の補修方法 ※図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・充填工法 [4.1.4] [4.3.9、10]</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法</p> <p>・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 ( )</p> <p>既製目地材</p> <p>・使用する (形状 ・ 図示による )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化量 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/?)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/?)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>保水係数 0.35～0.55 粘弾係数 0.50～1.00</p> <p>充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 ( )</p> <p>既製目地材</p> <p>・使用する (形状 ・ 図示による )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25	・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25	・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25	・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25	・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	<p>4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1. 既存タイル張りの撤去</p> <p>2. タイルの形状、寸法等</p> <p>3. ひび割れ部改修工事</p> <p>4. 欠損部改修工事</p> <p>5. 浮き部改修工事</p>	<p>・外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ</p> <p>タイルの形状、寸法等 [4.4.5、8]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="2">再生材料の含水率による区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>Ⅰ類</th> <th>Ⅱ類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>見本焼き</p> <p>・行う (施工箇所: ) ・行わない</p> <p>試験張り</p> <p>・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない</p> <p>改修箇所 ※ 既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面 (・ コンクリート面 ・ モルタル面)</p> <p>・樹脂注入工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0未満</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>※50～100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>※100～200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上～1.0未満</td> <td>※150～250</td> <td>※130</td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの採取を行う 採取回数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>採取部の補修方法 ・図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面)</p> <p>・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8]</p> <p>接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・樹脂張替え工法</p> <p>・張替え用材料JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・張付けモルタル (・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.4.2による</p> <p>・図示による</p> <p>外壁タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修標準仕様書表4.3.10(3)による)</p> <p>タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・ 改良圧着張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修標準仕様書表4.3.10(3)による)</p> <p>シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化量 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/?)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/?)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>保水係数 0.35～0.55 粘弾係数 0.50～1.00</p> <p>充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 ( )</p> <p>既製目地材</p> <p>・使用する (形状 ・ 図示による )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の含水率による区分		役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	Ⅰ類	Ⅱ類			有	無	有	無	有	無	有	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25	・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25	・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25	・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25	・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	<p>4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</p> <p>1. 既存モルタル塗りの撤去</p> <p>2. ひび割れ部改修工事</p> <p>3. 欠損部改修工事</p> <p>4. 浮き部改修工事</p>	<p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>・タイル部分張替え工法</p> <p>接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料 ・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による</p> <p>・図示による</p> <p>外壁タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修標準仕様書表4.3.10(3)による)</p> <p>タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・ 改良圧着張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修標準仕様書表4.3.10(3)による)</p> <p>シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示による</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>① 所要量の確認 [4.5.3] [表4.5.3]</p> <p>② 既存塗膜等の除去 [4.5.4]</p> <p>下地処理及び下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地処理 (下地のひび割れ部等の補修)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa程度以上 ③ 5MPa</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ④ 図示による (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td> <td>・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>⑤ 水洗工法</td> <td>※ ヤグー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ⑥ 図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※下地調整塗材 [4.5.2]</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装塗材 S1</td> <td>・</td> <td>⑦ 砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材 S1</td> <td>・</td> <td>・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>⑧ 外装塗材 E</td> <td>・</td> <td>・ さざ波状 ・ 平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材 E</td> <td>・</td> <td>・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装塗材 E</td> <td>・</td> <td>・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装塗材 S</td> <td>・</td> <td>・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく</td> </tr> </tbody> </table> <p>・厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装塗材 C</td> <td>・</td> <td>・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ 平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装塗材 S1</td> <td>・</td> <td>・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装塗材 E</td> <td>・</td> <td>上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	工法	処理範囲	下地処理 (下地のひび割れ部等の補修)	・サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による		・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa程度以上 ③ 5MPa	※ 既存仕上げ面全体 ④ 図示による (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	⑤ 水洗工法	※ ヤグー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ⑥ 図示による		種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装塗材 S1	・	⑦ 砂壁状	・可とう形外装塗材 S1	・	・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り)	⑧ 外装塗材 E	・	・ さざ波状 ・ 平たん状	・可とう形外装塗材 E	・	・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り)	・防水形外装塗材 E	・	・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り)	・外装塗材 S	・	・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく	種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装塗材 C	・	・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ 平たん状	・外装塗材 S1	・	・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・外装塗材 E	・	上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない	<p>5 建具改修工事</p> <p>① 改修工法 [5.1.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑨ アルミニウム製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・ 外部</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・ 内部</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>⑩ 木製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の明け方 ※図示による</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による</p> <p>建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>2. 防火戸 [5.1.4]</p> <p>・指定する 適用箇所 (・ 建具表による ) ・ 指定しない</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる 適用箇所 (・ 建具表による ) ・ 連動させない</p> <p>3. 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>建具見本の製作 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない</p> <p>建具見本製作の目的等: ( ) 建具見本の程度 ・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・ 納まり等が分かる程度のもの</p> <p>特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない</p> <p>4. 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>・ 適用する (・ 建具表による ) ・ 適用しない</p> <p>⑪ アルミニウム製建具 [5.2.2～5] [表 5.2.2]</p> <p>性能値等 [5.2.2～5] [表 5.2.2]</p> <p>耐風圧性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>気密性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>水密性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>・ 70</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>S-5</td> <td>-</td> <td>W-4</td> <td>・ 100</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>-</td> <td>※ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	⑨ アルミニウム製建具	-	-	・ 建具表による	・樹脂製建具	-	-	・ 建具表による	・鋼製建具	・ 外部	-	・ 建具表による	・鋼製建具	・ 内部	-	・ 建具表による	・鋼製建具	-	-	・ 建具表による	・ステンレス製建具	-	-	・ 建具表による	⑩ 木製建具	-	-	・ 建具表による	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・ A種	S-4	A-3	W-4	・ 70	※ 図示による	・ B種	S-5	-	W-4	・ 100	※ 図示による	・ C種	S-6	A-4	W-5	-	※ 図示による
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の含水率による区分		役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		Ⅰ類	Ⅱ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		有	無	有	無	有	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工法	処理範囲	下地処理 (下地のひび割れ部等の補修)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa程度以上 ③ 5MPa	※ 既存仕上げ面全体 ④ 図示による (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
⑤ 水洗工法	※ ヤグー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ⑥ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装塗材 S1	・	⑦ 砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形外装塗材 S1	・	・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
⑧ 外装塗材 E	・	・ さざ波状 ・ 平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形外装塗材 E	・	・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・防水形外装塗材 E	・	・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装塗材 S	・	・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装塗材 C	・	・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ 平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装塗材 S1	・	・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装塗材 E	・	上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑨ アルミニウム製建具	-	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・樹脂製建具	-	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・鋼製建具	・ 外部	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・鋼製建具	・ 内部	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・鋼製建具	-	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ステンレス製建具	-	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑩ 木製建具	-	-	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ A種	S-4	A-3	W-4	・ 70	※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ B種	S-5	-	W-4	・ 100	※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ C種	S-6	A-4	W-5	-	※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

<p>7. 樹脂製建具</p> <p>網戸等</p>	<p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別</p> <p>・BB-1 ・BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2)</p> <p>着色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具</p> <p>種別</p> <p>・BC-1 ・BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2)</p> <p>着色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法</p> <p>・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <p>※図示による</p> <p>○既存アルミ製窓に網戸取付 [5.2.3、5.3.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>防鳥網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	防鳥網	※ステンレス(SUS316)製	1.5mm	網目寸法15mm	<p>9. 鋼製軽量建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>鋼板</p> <p>・亜鉛めっき鋼板</p> <p>・ビニル被覆鋼板</p> <p>・カラー鋼板</p> <p>・ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.5.1による</p> <p>・ mm 使用箇所 ( )</p> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p>	<p>10. ステンレス製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>・鏡面仕上げ</p> <p>工法</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工</p> <p>・普通曲げ</p> <p>・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種</p> <p>・</p> <p>建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・</p> <p>○フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放散量等</p> <p>※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による</p> <p>・</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○特殊加工化粧合板</td> <td>○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.7.6による</p> <p>・</p> <p>引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用</p> <p>・適用しない ・適用する ( )</p> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( )</p> <p>見込み寸法</p> <p>※36mm ・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		○特殊加工化粧合板	○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)		・MDF			<p>11. 鋼製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.4.2による</p> <p>・ mm 使用箇所 ( )</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p>	<p>8. 鋼製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <p>※図示による</p>	<p>12. 鋼製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <p>※図示による</p>	<p>13. 鍵</p> <p>マスターキー</p> <p>・製作する</p> <p>・製作しない</p> <p>・既存のマスターキーに合わせる</p> <p>その他の鍵の製作本数</p> <p>※各室3本組 (室名札付き)</p> <p>・</p> <p>鍵箱</p> <p>・無し ・有り</p> <p>戸の開閉方式</p> <p>・建具表による</p> <p>・引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.11による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>種類・開閉方式 ( ) ( )</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.21による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>・引き戸用検出装置</p> <p>性能値</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.31による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>防滴 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・行う ・行わない</p>	<p>14. 自動ドア開閉装置</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.10.1</p> <p>・以下による</p> <p>手動開き力 ( ) ( )</p> <p>手動閉き力 ( ) ( )</p> <p>閉じ速度の調整 ( ) ( )</p> <p>制動区間 ( ) ( )</p> <p>開閉繰返し ( ) ( )</p> <p>耐衝撃性 ( ) ( )</p>	<p>15. 自閉式上り引戸装置</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.10.1</p> <p>・以下による</p> <p>手動開き力 ( ) ( )</p> <p>手動閉き力 ( ) ( )</p> <p>閉じ速度の調整 ( ) ( )</p> <p>制動区間 ( ) ( )</p> <p>開閉繰返し ( ) ( )</p> <p>耐衝撃性 ( ) ( )</p>	<p>7. 樹脂製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級 ( )</p> <p>気密性の等級 ( )</p> <p>水密性の等級 ( )</p> <p>外部に面する建具の種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</p> <p>(建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8)</p> <p>(建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震ドアセット</p> <p>面内変形追随性の等級 ( )</p> <p>(建具符号: 建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>・</p> <p>枠の見込み寸法</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>材料</p> <p>ガラス</p> <p>※複層ガラス</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <p>※図示による</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による	・B種	S-5	・	・	・	※図示による	・C種	S-6	・	・	・	※図示による	<p>16. 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類 [5.11.2、3]</p> <p>・管理用シャッター</p> <p>・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>開閉方式の種類</p> <p>※電動式 (手動併用)</p> <p>・手動式</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <p>・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>※Z12又はF12</p> <p>・</p> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる底板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p>	<p>17. 軽量シャッター</p> <p>開閉方式の種類 [5.12.2~4]</p> <p>※手動式</p> <p>・電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※Z06又はF06)</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※AZ90)</p> <p>スラットの形状</p> <p>・インターロッキング形</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	<p>18. オーバーヘッドドア</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.13.2による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.21による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・行う ・行わない</p>	<p>19. ガラス</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.13.2による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・行う ・行わない</p>	<p>8. 鋼製建具</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアセット [5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2]</p> <p>・適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>・</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <p>※図示による</p>	<p>16. 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類 [5.11.2、3]</p> <p>・管理用シャッター</p> <p>・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>開閉方式の種類</p> <p>※電動式 (手動併用)</p> <p>・手動式</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <p>・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>※Z12又はF12</p> <p>・</p> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる底板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p>	<p>17. 軽量シャッター</p> <p>開閉方式の種類 [5.12.2~4]</p> <p>※手動式</p> <p>・電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※Z06又はF06)</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※AZ90)</p> <p>スラットの形状</p> <p>・インターロッキング形</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	<p>18. オーバーヘッドドア</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.13.2による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.21による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・行う ・行わない</p>	<p>19. ガラス</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.13.2による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( ) ( )</p> <p>温度上昇 ( ) ( )</p> <p>耐久性 (サイクル) ( ) ( )</p> <p>防錆 ( ) ( )</p> <p>電源 ( ) ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目</p> <p>・建具表による</p> <p>・</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・行う ・行わない</p>
種類	材質	線径	網目																																																																			
防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																			
防鳥網	※ステンレス(SUS316)製	1.5mm	網目寸法15mm																																																																			
合板の種類	規格等	備考																																																																				
・普通合板	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																					
・天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																					
○特殊加工化粧合板	○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																					
・MDF																																																																						
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																	
・A種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による																																																																	
・B種	S-5	・	・	・	※図示による																																																																	
・C種	S-6	・	・	・	※図示による																																																																	

<p>20. ガラスブロック [5.14.5]</p> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>日射熱遮へい性による区分</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合)</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</td> <td>※建具表による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> </table> <p>呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能</p> <table border="1"> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ※図示による</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※径 5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状横筋及び縦筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示による</p> <p>形状 ※図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による</p> <p>21. ガラス用フィルム</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内貼り用</th> <th>外貼り用</th> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム</td> <td>・SC-1</td> <td>・SC-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GI-1</td> <td>・GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GD-1</td> <td>・GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p>	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による	日射熱遮へい性による区分	・1種 ・2種 ・3種	耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合)	・A種 ・B種	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による	・図示	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	樹脂製	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による	・160×160	・95					・200×200	・95					種類	記号		その他性能等	内貼り用	外貼り用	・日射調整フィルム	・SC-1	・SC-2		・低放射フィルム	・LE			・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF			<p>3. 既存壁の除去及び下地補修 [6.3.2]</p> <p>4. 施工一般 [6.5.2]</p> <p>5. 製材 [6.5.2]</p> <p>6. 造作用集成材 [6.5.2]</p> <p>7. 造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <p>8. 合板等 [6.5.2]</p> <p>9. 合板の日本農林規格による普通合板 [6.5.2]</p> <p>10. 合板の日本農林規格による構造用合板 [6.5.2]</p> <p>11. 合板の日本農林規格による化粧ばり構造用合板 [6.5.2]</p> <p>12. 合板の日本農林規格による天然木化粧合板 [6.5.2]</p> <p>13. 合板の日本農林規格による特殊加工化粧合板 [6.5.2]</p> <p>14. パーティクルボード [6.5.2]</p> <p>15. JAS 0360 に基づく構造用パネル [6.5.2]</p> <p>16. MDF [6.5.2]</p>	<p>11. 防塵・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>12. 内部間仕切軸組及び床組み [6.5.6]</p> <p>13. 窓、出入口その他 [6.5.7]</p> <p>14. 軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]</p>	<p>10. 接合具等 [6.5.3]</p> <p>11. 接着剤 [6.5.3.4]</p> <p>12. 防塵・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>13. 窓、出入口その他 [6.5.7]</p> <p>14. 軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]</p>	<p>10. 接合具等 [6.5.3]</p> <p>11. 接着剤 [6.5.3.4]</p> <p>12. 防塵・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>13. 窓、出入口その他 [6.5.7]</p> <p>14. 軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]</p>
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による																																																																	
日射熱遮へい性による区分	・1種 ・2種 ・3種																																																																	
耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合)	・A種 ・B種																																																																	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による	・図示																																																																
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																
樹脂製	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																
・160×160	・95																																																																	
・200×200	・95																																																																	
種類	記号		その他性能等																																																															
	内貼り用	外貼り用																																																																
・日射調整フィルム	・SC-1	・SC-2																																																																
・低放射フィルム	・LE																																																																	
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2																																																																
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1																																																																
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																	





令和7年度 南原保育園 外壁等改修工事 解体工事仕様書

特記仕様書

I. 解体工事概要

Table with 2 columns: Item (e.g., 1. 工事場所, 2. 敷地面積, 3. 工事種目) and Value (e.g., 上伊那郡南箕輪村9645, 4,912.97㎡, 解体対象物).

Table with 2 columns: Item (e.g., 4. 指定部分, 5. 工事範囲) and Value (e.g., 有/無, 指定部分工期).

II. 解体工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書...」
2. 特記仕様
(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の「」内表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Table with 3 columns: Chapter (e.g., 1. 電気保安技術者, 2. 施工条件明示事項), Item, and Remarks.

Main specification table with 3 columns: Item No. (e.g., ① 足場その他, ② 騒音・粉じん等の対策), Description, and Remarks.

Table with 3 columns: Item No. (e.g., 5. 処理に注意を要する建設廃棄物), Description, and Remarks.

Table with 3 columns: Item No. (e.g., ② 石綿含有建材の処理), Description, and Remarks.

8 周辺建築物等調査	1. 周辺建築物等調査	<p>調査</p> <p>調査は一般的事項調査、事前調査及び事後調査に区分して行うものとする。</p> <p>(一般的事項調査)</p> <p>1 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物の所有者ごとに次の各号の調査を行うものとする。</p> <p>一 建物の敷地ごとに建物等(主たる工作物)の敷地内の位置関係</p> <p>二 建物ごとに実測による間取り平面及び立面</p> <p>三 建物等の所在及び地番並びに所有者の氏名及び住所</p> <p>現地調査において所有者の氏名及び住所が確認できないときは、必要に応じて登記簿謄本等の閲覧等の方法により調査を行う。</p> <p>四 その他調査書の作成に必要な事項</p> <p>(事前調査)</p> <p>1 受注者は、一般的事項調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所等の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。</p> <p>一 基礎</p> <p>二 軸部</p> <p>三 開口部</p> <p>四 床</p> <p>五 天井</p> <p>六 内壁</p> <p>七 外壁</p> <p>八 屋根</p> <p>九 水回り</p> <p>十 外構</p> <p>2 建物の全体又は一部に傾斜又は沈下が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 傾斜又は沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物の四方向を水準測量又は傾斜計等で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定めて併せて計測を行う。</p> <p>二 コンクリート基礎に亀裂が生じているときは、建物の外周について、発生箇所及び状況(最大幅、長さ)を計測する。</p> <p>三 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況(大きさ)を計測する。</p> <p>四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。</p> <p>3 軸部(柱及び敷居)に傾斜が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 原則として、当該建物の工事箇所にも最接近する壁面の両端の柱及び建物中央部の柱を全体で3箇所程度計測する。</p> <p>二 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床(敷居)から1メートルの高さの点とする。</p> <p>三 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。</p> <p>四 計測の単位は、ミリメートルとする。</p> <p>4 開口部(建具等)に建付不良が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所程度とし、全体で5箇所程度を計測する。</p> <p>二 測定箇所は、柱又は窓枠と建具との隙間との最大値の点とする。</p> <p>三 建具の開閉が得らなに行えないもの、又は開閉不能及び施設不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。</p> <p>四 計測の単位はミリメートルとする。</p> <p>5 床に傾斜等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 えん甲板張り等の居室(敷居の居室を除く。)について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。</p> <p>二 床仕上げ材に亀裂及び縁切れ又は剥離、破損が生じているときは、それらの箇所及び状況(最大幅、長さ又は大きさ)を計測する。</p> <p>三 束又は大引、根太等床材に緩みが生じているときは、その程度を調査する。</p> <p>四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。</p> <p>6 天井に亀裂、縁切れ、雨漏等のシミが発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。</p> <p>7 内壁に切り切れ(柱及び内法材と壁との分離)が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 居室ごとに発生箇所数の調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所、全体で6箇所程度計測する。</p> <p>二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。</p> <p>8 内壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 原則として、すべて亀裂の計測をする。</p> <p>二 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。</p> <p>三 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏等のシミが生じているときは、その形状、大きさの調査をする。</p> <p>9 外壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から2箇所程度を計測する。</p> <p>二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。</p> <p>10 屋根(庇、雨樋を含む。)に亀裂又は損傷などが発生しているときは、当該建物の屋根伏図を作成し、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。</p> <p>二 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂の幅についてはミリメートルとする。</p> <p>11 水廻り(浴槽、台所、洗面所等)に亀裂、破損、漏水等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。</p> <p>一 浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張りに亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときは、すべての損傷を第8項に準じて行う。</p> <p>二 給水、排水などの配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況を調査する。</p> <p>12 外構(テラス、コンクリート叩、ベランダ、犬走り、池、浄化槽、門柱、塀、擁壁等の屋外工作物)に損傷が発生しているときは、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。この場合において、必要に応じ、当該工作物の平面図、立面図等を作成し、損傷箇所、状況等を記載する。</p> <p>(写真撮影)</p> <p>1 事前調査に掲げる建物等の各部位の調査に当たっては、計測箇所を次の方法により写真撮影を行うものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。</p> <p>撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影する。</p> <p>(1) 調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名</p> <p>(2) 損傷名及び損傷の程度(計測)</p> <p>(3) 撮影年月日、撮影番号及び撮影対象箇所</p> <p>(事後調査)</p> <p>1 受注者は、事前調査を行った建物等について、損傷箇所等の変化及び工事によって新たに発生した損傷の状況及び程度の調査を行うものとする。</p> <p>2 事前調査の調査対象外であって、事後調査の対象となったものについては、一般的事項調査を行ったうえで損傷箇所の調査を行うものとする。</p>	<p>調査書の作成</p> <p>受注者は、次の各号の事前調査書及び図面の作成を行うものとする。</p> <p>(事前調査書及び図面)</p> <p>一 調査区域位置図</p> <p>二 調査区域平面図</p> <p>三 建物等調査一覧表</p> <p>四 建物等調査書(平面図・立面図等)</p> <p>五 損傷調査書</p> <p>六 写真集</p> <p>(事前調査書及び図面の作成)</p> <p>一 調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。</p> <p>二 調査区域平面図は、調査区域内の建物の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。</p> <p>(1) 調査を実施した建物については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号を記載し、建物の構造別に色分けし、建物の外枠(外壁)を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。</p> <p>(2) 縮尺は、500分の1又は1,000分の1程度とする。</p> <p>三 建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物等について調査番号、建物番号(同一所有者が2棟以上の建物等を所有している場合)の順に建物等の所在及び地番、所有者並びに建物等の概要等必要な事項を記入する。</p> <p>四 建物等調査書(平面図・立面図等)は、一般的事項調査及び事前調査の結果を基に建物等ごとに次により作成するものとする。</p> <p>(1) 建物平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積、各階延べ面積及びこれらの計算式を記入する。</p> <p>(2) 建物立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面(東西南北)を作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。</p> <p>(3) その他調査書(基礎伏図、屋根伏図及び腰間図)は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細(スケッチ)図を作成することが適当であると認められたものについては、スケッチによる調査書を作成する。</p> <p>(4) 工作物の調査図は、損傷の状況及び程度により建物に準じて作成する。</p> <p>五 損傷調査書は一般的事項調査及び事前調査の結果に基づき、建物ごとに建物等の所有者名、建物の概要、名称(室名)、損傷の状況を記載して作成し、損傷の状況については、事前調査欄に損傷名(亀裂、沈下、傾斜等)及び程度(幅、長さ及び箇所数)を記載する。</p> <p>六 写真は、撮影したものをカラーサービス料で印刷し、撮影箇所及び状況の記載を行ったうえでファイルする。</p> <p>(事後調査書等の作成)</p> <p>1 受注者は、事前調査書及び図面を基に建物等の概要、損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷について、事前調査に準じて調査書及び図面の作成を行うものとする。</p>	<p>建物等調査一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>建物用途(共同住宅戸数)</th> <th>規模・構造</th> <th>延べ床面積</th> <th>調査範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・外部・内部・外構</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・外部・内部・外構</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・外部・内部・外構</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・外部・内部・外構</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う</p> <p>調査区域平面図</p>	番号	建物用途(共同住宅戸数)	規模・構造	延べ床面積	調査範囲	備考	1				・外部・内部・外構		2				・外部・内部・外構		3				・外部・内部・外構		4				・外部・内部・外構	
	番号	建物用途(共同住宅戸数)	規模・構造	延べ床面積	調査範囲	備考																												
1				・外部・内部・外構																														
2				・外部・内部・外構																														
3				・外部・内部・外構																														
4				・外部・内部・外構																														
	⑨ その他	<p>1. 工事現場の環境改善</p> <p>・仮囲い周辺の美化</p> <p>・地域住民への情報提供</p> <p>・情報掲示板の設置</p> <p>・パンフレットの作成</p> <p>・住民に対する災害防止関係</p> <p>・現場出入口周辺への誘導員の配備</p> <p>⑩ 産業廃棄物の取扱い</p> <p>産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること</p> <p>(i) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録</p> <p>① 処理の全部又は一部を委託した場合</p> <p>ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)A票、B2票、D票及びE票(建Iの場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあつては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)</p> <p>② 請負者が自ら処理した場合</p> <p>ア マニフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表</p> <p>イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあつては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)</p> <p>③ 特別管理産業廃棄物の場合</p> <p>①又は②に準ずる。ただし「産業廃棄物管理票」を「特別管理産業廃棄物管理票」と読み替える。</p> <p>(ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録</p> <p>再生資源利用促進実施計画に記載する事項</p> <p>発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、運搬距離、搬出先の種類等</p> <p>(iii) 写真</p> <p>① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真</p> <p>② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除去作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること)</p> <p>③ 使用機械類</p> <p>④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込時及び積降し時の写真</p> <p>⑤ しゅん工時の全景写真(着手時と同アングルとする。)</p> <p>⑥ その他監督職員の指示による</p> <p>3. 騒音、振動調査</p> <p>調査の有無 ※無 ・有</p> <p>調査方法については設計図書による</p> <p>4. 土壌調査</p> <p>調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査(含有量試験) ・揮発性抽出試験 ・廃棄物含有調査</p> <p>土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。調査箇所については設計図書による。</p> <p>⑪ 官庁その他への届出手続き等</p> <p>(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続き等を遅滞なく行う。</p> <p>(2) 前項に規定する届出手続き等を行うにあつては、届け出内容についてあらかじめ監督員に報告すること。</p> <p>⑫ 疑義に関する協議等</p> <p>設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議する。</p> <p>7. 文化財その他の埋蔵物</p> <p>工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。その後の処置については、監督員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保持する。</p> <p>8. 埋蔵文化財調査</p> <p>「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当 ・該当する ・該当しない</p> <p>掘削作業時の教育委員会等の立会い ・有 ・無</p> <p>埋蔵文化財調査の時期 ・解体工事終了後 ・解体工事中</p>																																